

H29年度 尼崎市立武庫東中学校の取り組み

校訓

「いのちを大切にしよう」「きまりを守ろう」「進んでことにあたろう」「相手の立場に立って考えよう」

学校教育目標

- ①調和と統一のとれた生徒の人間形成をめざし、知育・徳育・体育の3領域一体の教育を進める。
- ②人間尊重の精神と生命への畏敬の念を実生活に活かす生徒の育成をめざし「いのちの教育」を進める。
- ③法律やルールを守る「規範意識」を身につけるとともに、たくましく「生きる力」を持つ生徒の育成をめざし、学校・家庭及び地域社会の連携を深める。

めざす生徒象

— 豊かな心を持ち、たくましい生徒 —

- ①人の命、物の命を大切にす生徒
- ②ともに考え、ともに行動し、汗を流す生徒
- ③苦しさに耐え、物事を成就して感動する生徒
- ④相手の立場にたって行動できる生徒
- ⑤何事にも主体的に行動する生徒
- ⑥自主的・意欲的に学習する生徒
- ⑦社会規範を身につけ、社会に貢献できる生徒

学校経営の方針

- ①学習指導の充実
- ②道徳教育の充実と人権教育の推進
- ③生徒指導の徹底
- ④特別支援教育の充実
- ⑤キャリア教育の推進と進路指導の充実
- ⑥個に応じた指導の充実
- ⑦心身を鍛える
- ⑧環境教育とボランティア精神の涵養
- ⑨教職員の勤務時間の適正化
- ⑩チーム武庫東として動く

研究主題

『主体的に学ぶ意欲を持ち、自己の生き方を考えることのできる生徒の育成』

『確かな学力』の定着を目指し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力等をバランスよく伸ばすとともに、主体的に学習に取り組む態度と学習習慣を身につけさせ、家庭学習の充実を図り、生涯にわたって個性や資質・能力を磨き、志を持って自らの未来を切り拓く力を培う。

具体的な取り組み

(1) 各教科において基礎・基本の定着の徹底を図る

- ①朝学習に積極的に取り組ませるために、朝学習プリントの問題を積極的に活用する。(学期に1回ドリルコンテストを実施、朝学習プリントの問題を定期テストに盛り込む等)
- ②家庭学習の習慣化を図る。(学校便りや定期テスト計画表の活用等)
- ③学習内容の定着を図る。宿題や小テストを設定することにより、授業で学習した内容を「わかる」から「できる」に。

(2) 教科指導における指導方法を工夫する

- ①授業参観ウィークを設定する。期間中に研究授業を実施し、反省会を行うことにより教職員の授業のスキルアップを図る。
- ②学習活動の中に学び合いの場を意図的に取り入れることで「思考力・判断力・表現力」を育成する。(4人班の活用、アクティブ・ラーニングの導入と研修)
- ③生徒相互の意欲や技術を高めさせるために、生徒の優秀作品等を展示する。
- ④全国学力・学習状況調査を教職員が実践する研修を計画する。

(3) キャリア教育も含めて小学校と連携し、中学校区全体で学力向上に取り組む

- ①小中連携推進委員会等、小学校との連携を図る。(小学校へのあいさつ運動の実施等)
- ②小学校職員と合同で研修会を実施する。(小学校の職員との意見交換の時間を増やす)
- ③小学校への出前授業を実施する。
- ④クラブ体験を実施する。
- ⑤生徒会執行部の小学校訪問を実施する。
- ⑥その他、学校行事やオープンスクール、授業参観などに参加して、積極的に小学校の様子を知る機会を持つ。
- ⑦MUKOEAST マニュアルを小学校へも配布する。

(4) 家庭・保護者と連携して、学習内容の定着を図る

- ①家庭・保護者とのコミュニケーションをしっかりと図る。
- ②MUKOEAST マニュアルを全校生徒に配布することにより、中学校での活動内容についての、家庭・保護者の理解を深める。
- ③e ライブラリを用いた放課後学習や家庭学習での利用を促進する。

(5) チームとしての学校を目指した教職員集団の形成を図る

- ①「尼崎市立武庫東中学校の取り組み」「学力向上アクションプラン」の全教職員へお周知徹底を図る。
- ②MUKOEAST マニュアルについて全教職員に周知徹底を図る。
- ③生徒指導面で全教職員の統一した意識を高める。「授業は、チャイムで始め、チャイムで終わる」というような、当たり前のことを徹底するところから意識を高めていく。